

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 連絡版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新千葉工場 建設工事	階数	地上2F
建設地	千葉県千葉市若葉区上泉町424番5	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,180 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年6月24日
敷地面積	62,640 m ²	作成者	荒木英次
建築面積	32,361 m ²	確認日	2024年6月24日
延床面積	40,561 m ²	確認者	安達学



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	更新性、メンテナンス性を確保しサービス性能を高めている。また、まちなみ・景観への配慮した計画により高い室外環境を創出している	その他 特になし
Q1 室内環境	使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用、屋外での喫煙スペースの設置等により室内空気環境へ配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 緑地保全、敷地内建築物外部仕上げ材・デザインの統一、まちなみ・景観への配慮を行っている
LR1 エネルギー	食堂吹抜部にハイサイドライトを設置し自然光を導入、また建物外皮は[BPI][BPlm]=0.88と熱負荷を抑制している	LR3 敷地外環境 生産排水再利用による汚水処理負荷抑制、駐車場、荷捌きスペース確保による交通負荷抑制など敷地外環境への配慮を行っている
Q2 サービス性能	階高3.9m以上、積載荷重4500N/m ² 以上、キャットウォークを備えた天井裏設備展開スペースの他計画により、更新性、メンテナンス性を確保している	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の採用、排水再利用を行い水資源を保護するとともに、押出法ポリスチレンフォームの使用など非再生性資源の使用量削減を行っている	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される